

3/20 (祝・火) タイムテーブル

- 11:00 開場
12:00 映画「水になった村」上映会
休憩
14:00 大西暢夫さん被災地報告会
休憩
16:00 大西さんとタネマキドリと話そう！シェアタイム
17:00 終了

お庭で
マーケット同時開催！

マーケットは11時オープン！
どなたでもご参加いただけます。

申し込み 問い合わせ

メール：tanemakidori@gmail.com
電話：042-595-6845 (カゴアミドリ伊藤)
(当日 042-560-4544 ゼルコバ)

チケット 3,000円 ※要予約

諸経費を除いた全額を被災地に寄付させていただきます。

お庭でマーケットおいしいもの並びます！ 11時～(売り切れ次第終了)

- ・お菓子屋 ミモザ・たいやきやゆい・ドードー カレー・tomot design(焼き絵トレイ)
 - ・パン工房 ゼルコバ・薪窯パンと器 ユッカ屋・お菓子 omi・世界のかご カゴアミドリ ほか
- ※マイ箸・マイカップ・マイバッグをご持参ください。



アクセス方法

1. 西武拝島線「西武立川駅」
徒歩 15分
2. JR 青梅線「昭島駅」北口より
くるりんバス乗車
「西砂殿ヶ谷」下車、徒歩 0分
くるりんバス
●武蔵砂川駅行き (昭島駅北口発)
9:10 10:25 11:40 12:55
14:10 15:25 16:40 17:55
●昭島駅北口行き (西砂殿ヶ谷発)
8:55 10:10 11:25 12:40 13:55
15:10 16:25 17:40 18:55

※お車でのご来場はご遠慮ください。
駐車場がありません。

場所：パン工房ゼルコバ 東京都立川市西砂町 5-6-2
<http://zelkowa.cocolog-nifty.com/blog/>

about



わたしたちの日々の小さな選択が
その先の未来をつくっています

タネマキドリは 暮らしのなかにある

ひとつひとつの種に目を向けて一緒に受けとめ
ていねいに伝えていきたいと考えています

Twitter @tanemakidori

ブログ <http://tanemakidori.blogspot.com/>

Facebook <http://www.facebook.com/tanemakidori>

タネマキドリメンバー 伊藤征一郎、小野孝章、小野理恵、富永美音、野川未央、萩原美貴、星川美穂
タネマキドリは、多摩地区に住むメンバー7人で運営をしています。

写真家 大西暢夫さんの被災地報告会 + 映画「水になった村」上映会

3/20 (祝・火) 開演 12:00 ~ 17:00

お庭でマーケット同時開催 11:00 オープン

場所 パン工房ゼルコバ

写真：大西暢夫

陸前高田市、川沿いに流れ着いた卓上用の時計。寝る前の火の元を気にしていた様子がうかがえる

主催：タネマキドリ
タネマキドリ

大西暢夫さんの被災地報告会 + 映画「水になった村」上映会

2011年3月11日午後2時46分。

そのときあなたはどこで、何をしていましたか。

あの日から1年が経とうとするいまも、地震と津波の爪あと、そして原発事故がもたらした大きな被害のもと、被災地の方々の暮らしは続いています。

わたしたちの暮らしは小さな選択の数々からできていて、どこかの誰かの暮らしとつながっています。

土地に根ざした人びとの暮らしや心。そして、ふるさとを失い、土地と切り離された人びとの暮らしや心。それらを、土地とのつながりが希薄ともいえる都会のわたしたちこそが”じぶんごと”として考えていく。

そうすることで、わたしたちが失いかけている大切な根っこに、少し近づけるような気がしています。

参加してくださるみなさんの一人ひとりが明日につながっていく”じぶんごと”を見つげられる場になりますように。タネマキドリの願いです。

写真家 大西暢夫さんの被災地報告会

被災地に何度も足を運び撮影した映像を交えながら
震災直後から現在までの様子をお話していただきます。



大西暢夫さんはこれまで、太平洋沿岸に続く津波の被災地、そして原発事故による避難区域を、岩手から茨城まで600キロ以上にわたってくりかえし足を運び、写真と映像を撮り続けてこられました。今回の報告会では、人々の様子を寄り添うような目線で撮影した映像を交え、現状を伝えていただきます。

「現場に行けば涙を流す現実しかない。見た事実を伝えていきたいが、何もかもが巨大で語りつくすことなど到底できない。その悔しさやもどかしさが常にしこりとして残った。でも僕は遠くに暮らす人に、少しでも知ってもらいたかった。それはメディアに関わるカメラマンとしての仕事だと思った。」

「東北沿岸600キロ震災報告」(著 大西暢夫 / 発行 岐阜新聞社)より抜粋

映画「水になった村」上映会

ダムに沈む村に生き続けた ジジババたちの物語



映画あらすじ

1957年、岐阜県徳山村にダム建設の話が広まった。総貯水量6億6千万立方メートル、日本最大のダムだ。

当時徳山村の住民は、約1600人。

写真家の大西暢夫が初めて村を訪ねたのは今から15年前のこと。だれもいないと思っていた集落に家があることに驚いた。

以来、ジジババたちの暮らしに魅せられ、東京から徳山村まで片道500キロ、バイクで高速道は使わず山道を走り抜けて何度も何度も通った。そしてその村でジジババたちは大西を「兄ちゃん」と呼び、共にたくさん食べ、いっぱい笑った。

2006年秋、いよいよ工事が終わり、水がたまり始めた。もう誰も、村に帰ることはできない。ジジババたちの変わりゆく暮らしに寄り添った15年間の記録。

映画サイト：<http://movies.polepoletimes.jp/mizu/>

監督・撮影・スチール：大西暢夫 企画・製作：本橋成一 編集：土井康一 録音：米山靖
整音：渡辺丈彦 音楽：林祐介 音楽コーディネーター：和田亨 音響助手：井上久美子

大西暢夫

おおにし・のぶお

写真家。1968年生まれ。岐阜県で育つ。写真家・映画監督の本橋成一氏に師事。原発事故後のチェルノブイリに入り、映画「ナージャの村」のスチール写真を担当。2010年刊行の写真絵本『ふたにく』で小学館児童出版文化賞、産経児童出版文化賞を受賞。映画監督作品に「水になった村」がある。東日本大震災後は被災地に通い、取材を続けている。



マーケット同時開催！11時オープン

どなたでもご参加いただけます。
1日限り。おいしいものが並びます。

※売切れの際はご容赦ください。
※マイ箸・マイカップ・マイバックをご持参ください。
※当日は、車での来場はご遠慮ください。